



人も猫も暮らしがやさしい町を…
町の中の猫を考える。



保健所では地域猫対策に積極的に取り組んでいます。

- ①猫の去勢・不妊手術への助成金制度があります。
- ②地域猫対策の話し合いを開催します。
- ③野良猫被害防止のご相談を受けます。
- ④パンフレット、ちらしなどを作成します。

猫で困った問題があきているときは、皆様からのご意見をもとに話し合いをすすめます。

そのためにご協力をあ願いします。また、地域猫活動をしているボランティアへのご理解とご協力を重ねてあ願いいたします。

お問い合わせ 新宿区保健所衛生課管理係 電話 5273-3148 FAX 3209-1441

人と猫との調和のとれたまちづくり

地域猫対策

のすすめ方

人の環境をたよって
子孫を残し続ける

猫の歴史

p-1

人と猫の共生する
社会のために

地域猫のすすめ

p-3

トラップ
T.N.R. ニューターリターン

捕まえ 去勢不妊手術をし 元の場所に戻す

p-6

人も猫も暮らしが
やさしい町を

えさの片付けとトイレ

p-9



P-1 地域猫対策のすすめ どうして町に猫がいるの

猫の歴史

人と共に生活する本能のイエネコは、人の環境をたよって子孫を残します。

海外では穀物や書籍をネズミから守るために、猫が飼い続けられました。町の中を行き来する猫の祖先です。



明治時代にペストが大流行したときの政府は、ペスト菌を運ぶネズミ退治用の猫を飼う事を決め、多くの猫が輸入されました。

昔の猫は家の中も外も自由に出歩く飼い方が一般的でした。

ペットブームの今、町の中にいる猫は、ペットの飼い猫が外で産んだ猫や、捨てられた猫たちの家族です。



猫を捨てる「遺棄」は重い犯罪です。

P-2

地域猫のすすめ

保健所には猫で被害を受けている人からの苦情や、お世話をしている人からの相談が寄せられ、問題の起きた場所で話し合いをしていきます。

寄せられる苦情は2種類です。「猫が引き起こす問題、なんとかして!!」「猫を助けたい!! でも、もうひとりでは限界!!」

困っている人やエサをあげている人たちに集まつてもらい、問題点の整理と解決を目指す話し合いを進めます。町会や自治会の役員の方にも参加をお願いします。



P-4 保健所で猫を駆除する事は出来ません。生まれる猫の数を減らすことで問題点の多くが解決します。

保健所の職員とボランティアが町や近隣の話し合いの場に出席して、具体的な方法など説明をします。保健所にチラシなどがあります。



身近ご暮らすひとたちと、
おなじ目的におかれています。



去勢・不妊手術をして猫の数をコントロールし、これ以上増やさないようにします。

保健所では手術費の助成制度や保護用ケージの貸し出しをしています。

猫の数が減り糞尿の片付けをすることで、地域環境の保全にも役立ちます。



捕まえて 去勢不妊手術をし 元の場所に戻す

野良猫は警戒心の強い動物です。手術のために保護するには、エサやりの人の協力が必要です。

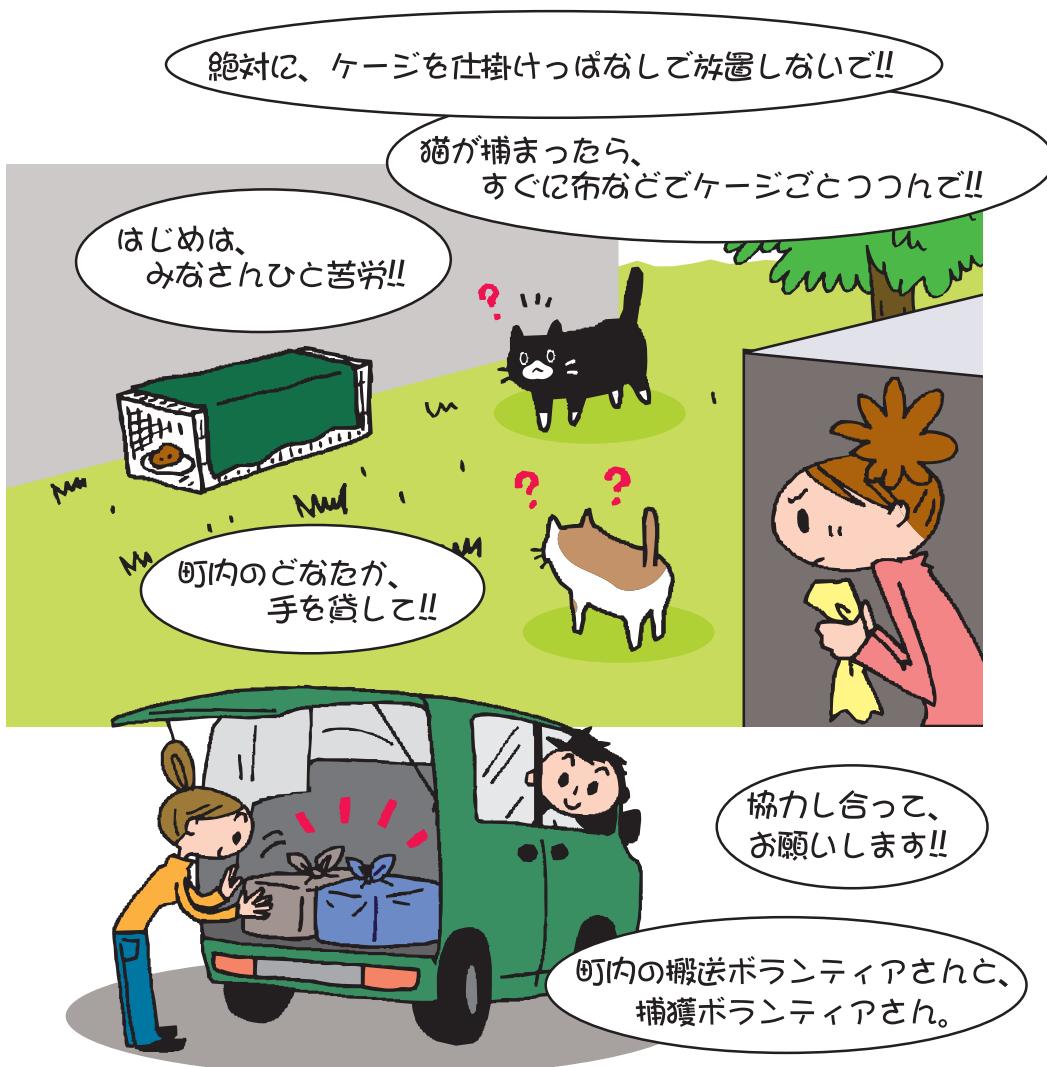
保護する際の道具・エサの種類・時間帯・獣医師の予約・近隣へのお知らせなど詳しい方法は保健所やボランティアがご相談をお受けしています。



捕獲の時間と場所が決まつたらケージを仕掛け、近くで見張ります。

捕まつた猫はパニックになり暴れます。すぐに布などでケージを覆い猫を落ち着かせ、病院に搬送します。

猫の保護には地域の人々が協力し合えるようにし、通院の車などで参加してもらえるようにつとめます。



多めの布やペットシーツを準備し、自転車・タクシー・電車なども利用されています。

手術の目印をつけて元の場所に戻すときにケージから飛び出し、しばらくの間テリトリーの安全な場所で傷をいやして、出てこないこともありますが、手術後はあだやかになります。



えさの片付けとトイレ

えさは決まった時間と場所であげて、食べ終わったら片付けます。置きえさはカラスなど、他の動物や虫のえさになり迷惑です。

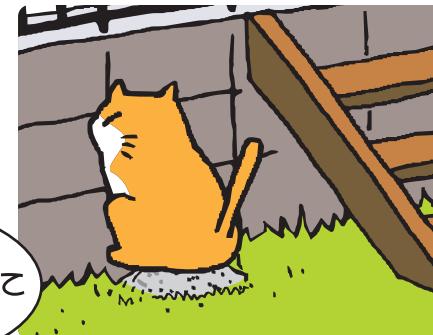
えさやり禁止ではありません。えさの置きっぱなし禁止です。



猫は、トイレのしつけがしやすい動物です。食事の後比較的近くの落ち着ける場所で、土や砂があるところにします。この性質を利用してトイレを工夫します。

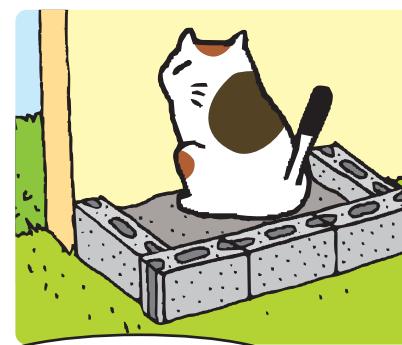
簡単な方法は、ものかげに工事用の砂や、道に散っている砂利などをほんの少し盛り、糞で臭い付けをします。

砂利なども
ほんの少し盛って
臭い付けを…



1週間に1~2回は砂を取り替え、できるだけこまめに糞を片付けます。

トイレに使われて困っていた場所には猫の嫌がる臭いや、嫌いなものをあきます。



アイデア次第で
さまざまなトイレ…



トイレ・片付けをしっかりとやると、猫が嫌われ者にならず「地域猫」として受け入れられます。

